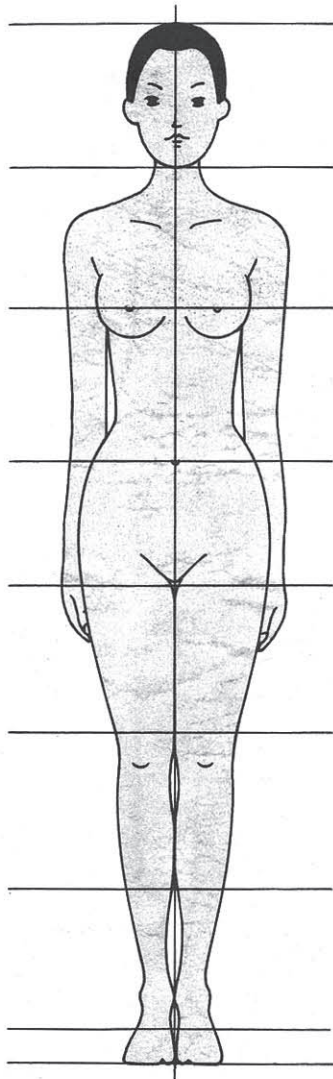




レポート



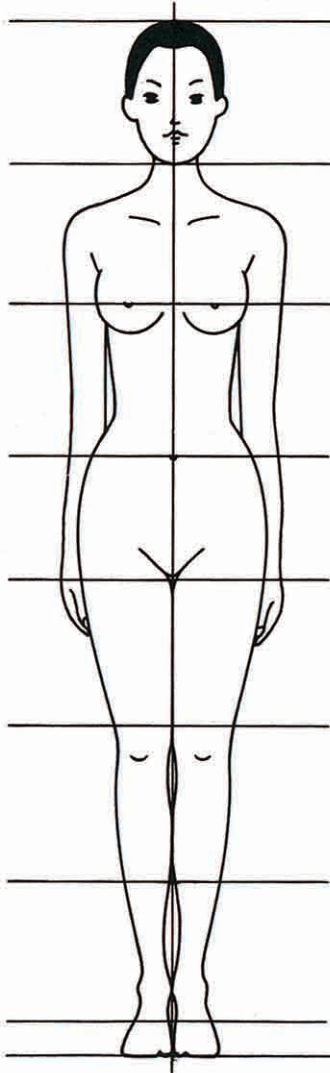
日本女性・アメリカ女性・日本男性にみる

「女性のボディ」観

(意識調査)

抄録

1976.9



日本女性・アメリカ女性・日本男性にみる
「女性のボディ観」

(意識調査)

抄録

1976.9

「女性のボディ」観・抄録編について

今秋、ワコールのキャンペーン・キーワードは『ボディすっきり』。
当社では、キャンペーン展開の基礎データとして、現代女性のボディに関する意識調査を実施し、《日本女性・アメリカ女性・日本男性にみる「女性のボディ」観》としてまとめました。

この調査は、現代女性が自分自身のボディをどう意識しているか、について多角的に質問したものです。「日本女性のボディ意識」だけでなく「アメリカ女性のボディ意識」や「日本男性のみた女性のボディ観」についても、あわせて調査し、国別や性別によるボディ意識の対比も試みました。

本資料は、この意識調査から一部項目を抜粋し、抄録編として構成したものです。

〈調査テーマ〉 女性のボディ観

〈調査期間〉 昭和51年7月～8月

〈調査対象・標本数〉 ①日本女性 300名

学生=100名、OL=100名、

主婦=100名

②在日アメリカ女性 90名

学生=19名、OL=21名、

主婦=50名

③日本男性 300名

学生=100名、独身サラリーマン=100名、

既婚サラリーマン=100名

は じ め に

この春ワコールは、日本中の女性にむけて、“歩きましょう。胸をはって。”のテーマのもと、美しく、躍動的な姿態表現を呼びかけ、湿りきった不況ムードにとじこもっている彼女たちの行動にハズミをつける明るい話題、晴れやかな提案をすすめてきました。

特に、ブラジャーを中心とした商品で、優しい胸もと、生き生きとした美しい姿勢から、女としての歓び、充実感が生まれてくる……そんなプロモーションとして、一応の成果が納められたと確信しています。

そして秋へ、ワコールでは春からのテーマである「歩きましょう。胸をはって。」の考え方をふまえながら、よりトータルなボディの美しさの実現を願い、『ボディすっきり』をキーワードに、新しいブランニングをすすめてきました。

商品的には、より高級感にみちたハイグレード企画、より多くの女性に受け容れられるボディースーツをめざしたタイプ分類企画、さらに暖かさでまとめたホットコレクションやニューインナーまで、ファンデーション、ランジェリーに新機軸を打ちだしました。

同時に、これら商品の裏づけとなる女性の意識やデータについても、今までとは違ったアングルからの追求をすすめてきましたが、究明すればするほど思いがけない意識の顕在化、新しいデータ傾向がうかがえました。

女性化粧品の世界でも、特に目もとのメーキャップにポイントをおいたプロモーションが主流のようですが、そのテーマは「まなざし」であり「瞳」となっています。

女性の求める情報も、今までのムード的、抽象的なものから、具体性のあるものに移っているようです。

ワコールでは「ボディすっきり」美しいプロポーションづくりを更に一步具体的に訴えています。

ここに提示します資料を通じて、ワコールの秋から冬への姿勢や考え方に、ぜひ共暖かいご理解、ちから強いご支援をお願いいたします。

1976年9月

株式会社ワコール宣伝部宣伝企画課

目 次

(抄 録 編)

1. 女性の美しさとは，日本女性「心」，アメリカ女性「顔立ち」， 男性は「素肌」がトップ	1
2. ボディの美しさは女性美に欠かせぬ条件	3
3. ボディの美しさに重要なのは日本女性が「清潔感」，アメリカ女性が 「健康美」を最高値にしている	4
4. アメリカ女性よりも日本女性の方がボディの不満度はかなり高い	5
5. 「自分のヌードを写真に撮ること」の評価はまちまち	8
6. ボディを美しくする努力は日本女性は「これから」，アメリカ女性は 「今やっている」	9
7. 下着は日米女性，男性ともボディを美しく見せるために「かなり重要」	11
8. 下着の役割は「体型をととのえる」「欠点をかくす」	13
9. ボディラインが一番気になる服装は日本が「タイトスカート」， アメリカが「イブニングドレス」	14
10. 一番かっこいいボディラインが出る服装は日本が「ワンピース」， アメリカは「イブニングドレス」	15
11. 外国女性のボディは「プロポーション」と「脚」が美しい	17
12. ホットパンツにベアバックシャツで街を歩く自信ありは「日本女性 16.0%」「アメリカ女性41.1%」	20
13. 下着の線が服装にひびいて見えるのは「不潔——アメリカ女性」 日本女性は「注意すべきだが見えるのはしかたがない」	21
<その他の調査結果>	23

1. 女性の美しさとは，日本女性「心」，アメリカ女性「顔立ち」，男性は「素肌」がトップ

＜質問＞ "女性の美しさ" といった時あなたはまず何を考えますか

日本女性が女性の美しさとして最も多く指摘しているのは①心（39.7%）。以下②雰囲気（28.0%），③センス（9.0%）がベスト3。「ボディの美しさ」と答えた女性は1.3%で，全9項目のうち8位。女性美のファクター全体からみれば，内的な美が断然優先する。これは属性別でも大きな差は見られない。

アメリカ女性では -

アメリカ女性があげるベスト3は①顔立ち（24.4%），②個性（21.1%），③雰囲気（20.0%）。日本女性がトップにランクした「心」は10%で4位。日米間の意識差がかなり大きい。

男性では -

日本男性は①素肌（30.3%），②心（18.3%），③顔立ち（17.3%）が女性の美しさのベスト3。とくに「素肌」への注目率は高く，日本女性の4倍，アメリカ女性の9倍。内的な美が優先する日本女性に対し，「顔立ち」「ボディの美しさ」が上位にランクされるなど外的な美にかなりこだわり，外見が重視されている。

女性の美しさとは

－ 「日本女性」「アメリカ女性」「男性」の対比

順位	日 本 女 性		ア メ リ カ 女 性		男 性	
	1位	心	39.7%	顔 立 ち	24.4%	素 肌
2位	雰 囲 気	28.0%	個 性	21.1%	心	18.3%
3位	セ ン ス	9.0%	雰 囲 気	20.0%	顔 立 ち	17.3%
4位	素 肌	7.0%	心	10.0%	ボディの美しさ	11.0%
5位	個 性	6.0%	ボディの美しさ	7.8%	セ ン ス	9.3%
6位	顔 立 ち	4.3%	セ ン ス	5.6%	個 性	7.0%
7位	教 養	2.0%	素 肌	3.3%	教 養	1.3%
8位	ボディの美しさ	1.3%	教 養	1.1%	服 装	0.7%
9位	服 装	0.3%	服 装	0	雰 囲 気	0
	そ の 他	1.7%	そ の 他	6.7%	そ の 他	3.3%

2. ボディの美しさは女性美に欠かせぬ条件

＜質問＞ "ボディの美しさ"は女性の美しさとの程度関係があると思いますか

女性の美しさを聞いた前項とは逆に、ボディの美しさに焦点をあてた質問を日本女性に試みた。結果は、ボディの美しさは女性美表現に「かなり」「やや」関係あるとする女性が多かった。「非常に関係ある」を含め、女性の美しさにボディの美しさは欠かせないとする女性が大勢の93.4%を占め、内面美同様、ボディなど外的な美も見逃せない要素となっている。

なお、関係ありとするウエイトは年齢が上がるほど重く主婦、OL、学生の順。主婦では子どものある産経女性にその傾向が目立つ。

アメリカ女性では —

日本女性が「かなり」「やや関係ある」としているのに対し「非常に関係ある」の比率の高いのが特徴。「非常に」「かなり」関係があるとする積極的關係派は、日本女性の50.3%に対し、60.0%と多くなっている。

属性別では学生に、ボディの美イコール女性美の傾向が顕著。

男性では —

前項で女性の美しさとして「ボディの美しさ」を4位にあげた男性では、当然この関係度は高く、積極的關係派は72.3%。「ボディの美しさ」は女性の美しさとイコール視する傾向が目立つ。

ボディの美しさと女性の美しさの関係

— 「日本女性」「アメリカ女性」「男性」の対比

	日本女性	アメリカ女性	男性
非常に関係ある	12.0%	32.2%	27.3%
かなり関係ある	38.3%	27.8%	45.0%
やや関係ある	43.0%	33.3%	24.7%
全く関係ない	6.3%	6.7%	2.7%

3. ボディの美しさに重要なのは日本女性が「清潔感」、
アメリカ女性が「健康美」を最高値にしている

＜質問＞ "ボディの美しさ"にとって次の項目はどの程度重要とと思いますか

日本女性に対し「ボディの美しさ」にとって重要と思われる項目を拾ってもらいボディの美しさに対する一般概念を整理してみた。「非常に重要」とするベスト3は「清潔感のあること」(60.3%)、「健康美にあふれていること」(50.3%)、「プロポーションのよいこと」(42.7%)。以下「肌のきれいなこと」「体の動きに美しさがあること」「体がひきしまり、すっきりしていること」が続く。逆に、ボディの美しさへの重要度の低い項目として「セックスアピールのあること」「服装が体にピッタリしていること」「個性的であること」が挙げられている。

アメリカ女性では -

「非常に重要」のベスト3は、①「健康美にあふれていること」、②「清潔感のあること」、③「プロポーションのよいこと」で、順位の変動はあるが日本女性と大差はない。しかしボディの美しさに重要でない項目として日本女性があげている「セックスアピールのあること」「服装が体にピッタリしていること」については、アメリカ女性ではかなり重要視されているのが特徴。

ボディの美しさにとって重要なことは

- 「日本女性」「アメリカ女性」の対比

	重 要 度			重 要 度	
	日本女性	アメリカ女性		日本女性	アメリカ女性
プロポーションのよいこと	79.7% ○	93.4% ○	知性を感じさせること	45.7%	54.4% ○
健康美にあふれていること	84.3% ○	95.6% ○	セックスアピールのあること	16.0%	50.0% ○
肌のきれいなこと	79.0% ○	82.2% ○	体の動きに美しさがあること	69.0% ○	87.8% ○
個性的であること	42.4%	46.7%	服装が体にピッタリしていること	42.4%	85.6% ○
清潔感のあること	89.6% ○	94.5% ○	体がひきしまり、すっきりしていること	68.0% ○	76.7% ○

(注) 重要度は「非常に重要」「かなり重要」の合計をとった。

○印は重要度が50%以上の高いもの

4. アメリカ女性よりも日本女性の方がボディの不満足はかなり高い

＜質問＞ あなた自身のボディをどのように思っていますか

現代女性は自分のボディにどの程度満足しているか — 「プロポーション」「バスト」「ウエスト」「ヒップ」など8項目について質問した。

日本女性の結果は「不満足」が非常に高く、「不満」「やや不満」の合計が5.0%に達しない項目は「身長」と「バスト」だけ。せっかく授かったボディに不平タラタラという女性像が浮きぼりされた。

最も不満足の高いのは「プロポーション」(61.0%)で、2位「脚の太さ」(60.7%)、3位「脚の長さ」(56.6%)。属性別ではOLに「脚の太さ」への不満が高いこと、主婦では不満項目が多すぎるのか、学生、OLに目立つ「体重」への不満が上位から脱落していることなどが特徴。

アメリカ女性では —

不満足高い日本女性と逆に、全項目について満足度が不満足を上回る。これはボディのよさもあるうが、陽気で楽天的な民族性の影響か、日本女性ほど深刻な傾向の見られないのが特徴。

満足度の高いのは①「身長」と「脚の長さ」、そして②「プロポーション」。逆に不満なのは①「脚の太さ」、②「体重」、③「ヒップ」。

－日本およびアメリカ女性のボディ満足度

非常に満足		やや満足			やや不満		不満足	
日本	アメリカ	日本	アメリカ		日本	アメリカ	日本	アメリカ
2.3%	15.6%	7.0%	33.3%	プロポーション	32.0%	16.7%	29.0%	4.4%
1.7%	24.4%	9.3%	23.3%	バスト	23.7%	17.8%	21.7%	3.3%
3.3%	25.6%	10.7%	22.2%	ウエスト	29.0%	14.4%	22.0%	10.0%
1.3%	15.6%	6.3%	22.2%	ヒップ	28.0%	17.8%	24.3%	12.2%
2.3%	30.0%	8.7%	28.9%	脚の長さ	27.3%	11.1%	29.3%	3.3%
3.0%	21.1%	6.0%	25.6%	脚の太さ	24.0%	23.3%	36.7%	11.1%
2.3%	18.9%	10.7%	23.3%	体重	26.3%	20.0%	29.3%	11.1%
8.7%	32.2%	14.0%	26.7%	身長	21.7%	8.9%	23.3%	2.2%

男性では－

＜質問＞ あなたの奥様あるいは恋人（女ともだち）のボディについてどのように
思っていますか

男性対象に質問した「女性のボディに対する満足度」は全項目について外人女性と同様満足度が不満度を上回っている。自分のボディに不満度が高く、己れにきびしい女性に対し、男性は甘い評価をしているのが特徴。

男性に目立つ不満度は①バスト、②体重、③脚の太さに多く、日本女性の不満度順位である①プロポーション、②脚の太さ、③脚の長さ、とは「脚の太さ」を別にして大差のあるのが興味深い。

女性のボディの満足度・不満度

——「日本女性」「アメリカ女性」「男性」の対比

	満 足 度						不 満 度					
	順位	日 本 性	順位	アメリカ女性	順位	男 性	順位	日 本 性	順位	アメリカ女性	順位	男 性
プロポーション	6	9.3%	3	48.9%	4	35.0%	1	61.0%	5	21.1%	6	18.7%
バスト	4	11.0%	5	47.7%	6	31.6%	7	45.4%	5	21.1%	1	27.0%
ウエスト	2	14.0%	4	47.8%	5	31.7%	6	51.0%	4	24.4%	5	19.0%
ヒップ	8	7.6%	8	37.8%	1	37.0%	5	52.3%	3	30.0%	8	14.7%
脚の長さ	4	11.0%	1	58.9%	7	31.4%	3	56.6%	7	14.4%	4	19.6%
脚の太さ	7	9.0%	6	46.7%	2	35.4%	2	60.7%	1	34.4%	3	19.7%
体重	3	13.0%	7	42.2%	8	29.6%	4	55.6%	2	31.1%	2	20.7%
身長	1	22.7%	1	58.9%	3	35.3%	8	45.0%	8	11.1%	7	16.4%

(注) 満足度は「非常に満足」と「やや満足」の合計

不満度は「やや不満」と「不満」の合計

5. 「自分のヌードを写真に撮ること」の評価はまちまち

＜質問＞ 若い時代に自分のヌードを撮影することをどう考えますか

ピチピチしてみずみずしい若い女性のボディ。このボディを記録としてヌード写真に撮っておくことについては意見が別れた。

「自信のある人なら撮るべきだ」の条件派と「ヌードは人に見せるものではないので必要なし」の否定派が各19.3%で並ぶ。また「ボディの記録として撮るのは賛成」の肯定派が少差の18.0%で続き、この項に対する評価はまちまちの結果がでた。

なお「撮りたい」という積極派に、「撮ってみたいがボディに自信がない」「撮りたいがはずかしい」とする潜在希望派を加えると15%となり、6人に1人は内心では撮ってみたい、または撮ってみたいかった女性といえる。これは属性別では主婦、OL、学生の順に多い。

アメリカ女性では —

「自信のある人は撮るべき」の条件派が26.7%あるが、「自信があっても撮るべきでない」「人に見せるものではないので必要ない」の否定派が、それぞれ18.9%、12.2%と続きヌード写真には意外に冷淡。内心撮ってみたい女性も8.8%と日本女性に較べて少なかった。

若い時代に自分のヌード写真を撮っておくことについて

— 「日本女性」「アメリカ女性」の対比

	日 本	アメリカ		日 本	アメリカ
自信のある人なら撮るべきだ	19.3%	26.7%	撮りたいがはずかしいので撮らない	4.7%	2.2%
ヌードは人に見せるものでないので必要ない	19.3%	12.2%	自信があっても撮るべきでない	4.3%	18.9%
ボディの記録として撮るのは賛成	18.0%	10.0%	撮りたいと思っている	4.0%	4.4%
撮ってみたいが自信がない	10.3%	2.2%	そ の 他	14.0%	7.8%

6. ボディを美しくする努力は日本女性は「これから」
アメリカ女性は「今やっている」

＜質問＞ ボディの美しさを維持するため努力していることがありますか

ボディへの不満度が高い現代女性—では、ボディを美しくするための努力はしているだろうか。「ふだんから努力している」努力派は23.7%で5人に1人。「現在も、これからも努力の必要はない」とする幸せな女性またはあきらめた(?)女性が9.7%で10人に1人。残る65.7%は「これから努力する」人で過半数を占めた。なお努力派はOL、主婦、学生の順、未来の努力派は学生、主婦、OLの順で多い。

では、その努力の方法—①正しい姿勢をする(54.9%)、②睡眠時間を充分とる(46.6%)、③肌の手入れをおこたらない(44.0%)。

アメリカ女性では—

「ふだんから努力している」女性が圧倒的に多く、日本女性に較べて努力型。

属性別では、努力派は日米ともOLに多いが、主婦の努力派は日本女性の26.0%に対し78.0%と高率。ボディの不満度は高いが努力せず、の日本女性に対し、ボディの不満度は低い積極的に努力するアメリカ女性—日米でボディの衰え方に差があるとはいうが、両者の対比は興味ぶかい。

努力の方法については、①食事に気をつける、②睡眠時間を充分とる、③肌の手入れをおこたらない、など。

ボディを美しくするための努力

—「日本女性」「アメリカ女性」の対比

	日 本	ア メ リ カ
これから努力する	65.7%	10.0%
ふだんから努力している	23.7%	74.4%
現在も、これからも努力しない	9.7%	7.8%
N · A	1.0%	7.8%

男性では—

＜質問＞ 女性はボディ（プロポーション）をすっきり美しくするために
ふだんから努力をする必要があると思いますか

男性には上記の質問で努力の必要を聞いた。

「必要がある」とする男性は85%に達した。とくに「既婚サラリーマン」では90%が必要ありとし、永遠の女性美を求める心は男性にも強い。美しくなるために努力してほしいとする男性の願望に応えるには、女性の努力派が23.7%というのはさびしい結果。

ではどんな方法で努力すべきか—最も多いのが、女性の回答に少なかった「テニスなどスポーツをする」で51.4%。

以下「規則正しい生活をする」「服装をつねに気をつける」「食事に気をつける」「美容体操をする」の順でアドバイス。

男性 — ボディを美しくするための努力は

		必要 がある	必 要 な い	N ・ A
職 業	全 体	85.0%	13.7%	1.3%
	学 生	78.0%	20.0%	2.0%
	独身サラリーマン	87.0%	12.0%	1.0%
	既婚サラリーマン	90.0%	9.0%	1.0%
年 令	10代	66.7%	33.3%	—
	20代	83.7%	15.2%	1.1%
	30代	92.6%	5.3%	2.1%

7. 下着は日米女性，男性ともボディを美しく見せるために「かなり重要」

＜質問＞ ボディを美しく保つため，あるいは見せるため下着はどの程度重要と思えますか

女性にとって「下着に気をつける」のもボディを美しく見せるための努力の一つ。その重要度を質問した。全体でみると「かなり重要」が42.3%，「やや重要」が31.3%，「非常に重要」が18.3%で，下着が重要視されていることを物語る。とくにおしゃれ年代といわれるOLにその傾向が強く，また「肥満型」女性の重要度も高い。

日本女性 — ボディを美しく見せるために下着はどの程度重要か

	非常に重要	かなり重要	やや重要	あまり重要な	全く重要な	N ・ A
全体	18.3%	42.3%	31.3%	7.0%	0.3%	0.7%
学生	16.0%	38.0%	35.0%	8.0%	1.0%	2.0%
OL	22.0%	47.0%	23.0%	8.0%	0	0
主婦	17.0%	42.0%	36.0%	5.0%	0	0
肥満型	36.4%	36.4%	22.7%	4.5%	0	0
やせ型	9.1%	48.5%	33.3%	7.6%	1.5%	0

アメリカ女性では —

下着の重要度は「非常に」「かなり重要」が半数を占めるが日本女性より全般に低く，「あまり重要でない」「全く重要でない」とする女性も多い。①「かなり」，②「やや」，③「非常に」の順位は日本女性と同じ。

男性では —

当然ながら下着の重要度は女性の方が高い。「非常に重要である」回答は女性が18.3%に対し男性は半分の9.7%、「かなり重要である」は女性が42.3%に対し27.3%。「あまり」、「全く」重要でないとする男性は21.7%とかなり多いのが特徴。

ボディを美しく見せるために下着はどの程度重要か

— 「日本女性」「アメリカ女性」「男性」の対比

	日本女性	アメリカ女性	男性
非常に重要である	18.3%	21.1%	9.7%
かなり重要である	42.3%	33.3%	27.3%
やや重要である	31.3%	22.2%	27.7%
あまり重要でない	7.0%	13.3%	19.0%
全く重要でない	0.3%	6.7%	2.7%

8. 下着の役割は「体型をととのえる」「欠点をかくす」

＜質問＞ ボディを美しく保つため、見せるため下着の役割は何だと思えますか

ボディを美しく見せるのに欠かせない下着。では下着はどんな目的で着られているか、その役割を聞いてみた。日本女性の結果は①体型をととのえる、②欠点をかくす、③体の線をくずさないの順。最近の下着は「機能性」と「ファッション性」の二極化の方向にあるが、役割という質問に対しては圧倒的に「機能性」をあげている。

属性別では「欠点をかくす」のは、年代が上がるほど、また肥満型ほど多くなっている。

アメリカ女性では —

アメリカ女性があげた下着の役割は①体の線をくずさない、②体型をととのえる、③個性美を表現する、だが、数値は各項にほぼ平均しているのが特徴。日本女性が2位にランクした「欠点をかくす」は最下位でとらえられているのが面白い。

男性では —

下着の役割については「体型をととのえる」「体の線をくずさない」と女性と同じ回答。ただ女性が2位にランクした「欠点をかくす」については男性の場合4位。これは男性が、下着の「欠点をかくす」機能を知らないためか —。

下着の役割は — 「日本女性」「アメリカ女性」「男性」の対比

	日本女性	順位	アメリカ女性	順位	男性	順位
体型をととのえる	84.7%	1	34.4%	2	39.2%	1
欠点をかくす	63.7%	2	22.2%	5	12.4%	4
体の線をくずさない	50.7%	3	35.6%	1	24.7%	2
長所をより美しくみせる	33.3%	4	23.3%	4	19.1%	3
個性美を表現する	12.7%	5	25.6%	3	10.3%	5

※男性は「あまり重要でない」「全く重要でない」の回答者を除く194名を対象

9. ボディラインが一番気になる服装は日本が
「タイトスカート」、アメリカは「イブニングドレス」

＜質問＞ あなたはボディラインが一番気になるのはどの服装のときですか

女性のボディラインは服装によってかなり見え方は異なる。日本女性にボディラインが一番気になる服装をあげてもらったら、1位が「タイトスカート」、2位「パンタロン」、3位「ミニスカート」の順だった。

体型別では「標準型」がタイトスカートを、「肥満型」「やせ型」がパンタロンをトップにあげている。

アメリカ女性では —

①イブニングドレス、②ワンピース、③パンタロンの順。

衣生活の習慣の差からか、最も気になる服装はイブニングドレスがトップ。また日本女性には気にならないワンピースが、アメリカ女性では逆転して、気になる服装の2位にあげられている。

ボディラインが一番気になる服装 — 「日本女性」「アメリカ女性」の対比

	全 体		学 生		O L		主 婦	
	日 本	アメリカ	日 本	アメリカ	日 本	アメリカ	日 本	アメリカ
タイトスカート	21.3%	16.7%	20.0%	15.8%	31.0%	33.3%	13.0%	10.0%
パンタロン	17.3%	18.9%	7.0%	10.5%	20.0%	33.3%	25.0%	16.0%
ミニスカート	14.3%	4.4%	16.0%	—	13.0%	9.5%	14.0%	4.0%
ホットパンツ	12.7%	13.3%	19.0%	5.3%	5.0%	23.8%	14.0%	12.0%
ジーンズ	12.0%	15.6%	20.0%	10.5%	6.0%	28.6%	10.0%	12.0%
ワンピース	7.3%	21.1%	6.0%	15.8%	6.0%	14.3%	10.0%	26.0%
ブラウス	2.0%	3.3%	2.0%	—	3.0%	4.8%	1.0%	4.0%
イブニングドレス	1.7%	24.4%	4.0%	21.1%	—	19.0%	1.0%	28.0%